

## 平成 26 年度 全国研修会 開催・申込要項

＜テ ー マ＞ 全国研修会開催 10 周年 ―これからの 10 年に向けて―

「いま精神保健福祉士養成に必要な教育力

～求められる役割と新たな活躍のために～」

精神保健福祉士の国家資格が 1997 年に誕生して 17 年、本協会が設立されて 10 年という時間が流れようとしている。この間、法制度の改変が続き、新カリキュラムの移行期には、新たに求められる精神保健福祉士養成のあり方や養成の原点・本質を本研修会で取り上げてきたことは記憶に新しい。

また昨年は、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）」が改正された。そこでは、保護者制度の廃止や医療保護入院・精神医療審査会の見直しなど精神保健福祉士がその専門性を発揮して関わるべき事項がより明確になったといえる。

そこで 1 日目は、改正・精神保健福祉法の理解と養成のポイントについて、厚生労働省より基調講演を受け、改正法の重要な視点を踏まえた話題提供によるシンポジウムを開催し、参加者とともに精神保健福祉士養成教育に必要な教育力を考えたい。2 日目は、1 日目の議論に続き、具体的に必要な知識ないし検討課題を共有するための 4 分科会を設けた。

本協会の記念すべき 10 回目となる本研修会が精神保健福祉士養成に求められる新たな役割を考える機会となり、また日頃の養成に活かせる教育力を見出す場となれば幸いである。

＜開催場所＞ 愛知淑徳大学 星ヶ丘キャンパス （愛知県名古屋市千種区桜が丘 23）

地下鉄東山線「星ヶ丘駅」2 番出口より徒歩 4 分（名古屋駅より所要時間 21 分）

＜タイムスケジュール＞ （予定）

|             |             |                                                        |
|-------------|-------------|--------------------------------------------------------|
| 6 月 28 日（土） | 9:30～       | 受付開始                                                   |
|             | 10:00～      | 開会式（開催校挨拶・会長挨拶）                                        |
|             | 10:30～12:00 | 基調講演 「精神保健福祉法改正に伴う精神保健福祉士養成に求められるもの」（仮題）               |
|             | 13:00～16:00 | シンポジウム 「これからの精神保健福祉士養成教育に必要な教育力を考える」                   |
|             | 16:30～18:00 | 平成 26 年度 精養協 通常総会                                      |
|             | 19:00～20:50 | 情報交換会 会場：名古屋国際ホテル（名古屋市中区錦 3 丁目 23-3）                   |
| 6 月 29 日（日） | 9:30～12:30  | 分科会 1「ルーブリック（評価基準表）の活用について」                            |
|             |             | 分科会 2「精神保健福祉援助演習・実習の教育体制の視点と展開」                        |
|             |             | 分科会 3「教員に必要なスーパービジョン機能<br>～実習 SV と卒後 SV を視野に入れて」       |
|             |             | 分科会 4「一般・短期養成施設における養成教育の本質と<br>役割について ～養成施設の教育が目指すもの～」 |
|             | 13:30～14:15 | ブロック活動 基調報告 （北海道・広島県等から）                               |
|             | 14:20～15:20 | ブロック別連絡会                                               |

＜大会参加費・情報交換会費＞

大会参加費：会員校 12,000 円 非会員校 17,000 円

精神保健福祉士実習指導者（現場の方）2,000 円

情報交換会費：8,500 円

【1 日目 6 月 28 日（土）10:30 ～ 16:00】

＜基調講演＞ 10:30 ～ 12:00

テーマ「精神保健福祉法改正に伴う精神保健福祉士養成に求められるもの」（仮題）

〔企画の趣旨・内容〕

2013 年 6 月に改正された精神保健福祉法は、精神科医療提供体制の見直しや保護者制度の廃止および医療保護入院の見直しとともに、早期退院支援のあり方に及んで議論されて「良質かつ適切な精神障害者に対する医療の提供を確保する指針」が取りまとめられたところである。

この改正法では、精神保健福祉士の重要な業務に関わる事項が多く規定され、精神保健福祉士を養成する養成校においては、法制度に対するより深い理解が必須となる。2014 年 4 月 1 日より施行される本制度の全体像の説明と改正法における精神保健福祉士養成に求められるポイント（必要な知識や技術）を厚生労働省より講師をお招きしてご講演いただく。

講 師：講師調整中（予定：厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課）

＜シンポジウム＞ 13：00 ～ 16：00

テーマ「これからの精神保健福祉士養成教育に必要な教育力を考える」

〔企画の趣旨・内容〕

精神保健福祉法の改正点については、基調講演を通じて精神保健福祉士の役割が大きく期待されていることが判るであろう。そこでの期待とは、精神に障害がある人とその家族のみならず、多くの国民からの期待といえる。しかし、現場で新たな精神保健福祉士を待つ先達者たちから「精神保健福祉士の力が落ちてきている」といった声が聞こえてくることもあるのではなかろうか。

本シンポジウムでは、精神保健福祉士が最も活躍が求められてくる 3 つの立場や視点から、今後の養成教育に必要な教育力について話題提供を受け、参加者とともに精神保健福祉士の新たな活躍のために、これからの精神保健福祉士養成教育に必要な教育力を考える機会としたい。

シンポジスト：精神科医療から 大塚 淳子 氏（帝京平成大学）

地域相談支援から 中村 和彦 氏（北星学園大学）

地域包括ケアから 金子 努 氏（県立広島大学）

コーディネーター：長崎 和則 氏（川崎医療福祉大学）

\* 16：30 ～ 18：00 一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会 平成 26 年度通常総会（会員のみ）

＜移動＞ ※各自地下鉄等でご移動ください。

\* 19：00 ～ 20：50 情報交換会 於：名古屋国際ホテル「老松の間」地下鉄東山線「栄駅」8 番出口徒歩 2 分

【2日目 6月29日（日）9：30 ～ 12：30】

＜分科会 1＞ 9：30 ～ 12：30

テーマ「ルーブリック（評価基準表）の活用について」

〔企画の趣旨・内容〕

ルーブリックとは、「目標に準拠した評価」のための「基準」作りの方法論であり、学生が何を学習するのかを示す評価規準と、学生が学習到達しているレベルを示す具体的な評価基準を、マトリックス形式で示す評価指標である。

本協会が開催する精神保健福祉士実習・演習担当教員講習会でも、シラバスの作り方や成績評価の内容と方法が講習内容となっていることもあり、より良い精神保健福祉士養成のためには評価基準の具体例であるルーブリックの理解や活用も重要となってくる。本分科会では、精神保健福祉士指定科目の「精神保健福祉援助演習」を取り上げ、演習形式でルーブリックの作成作業をしつつ、何をどのように評価するのか、などについて参加者と共に学び合いの機会を設けたい。

講師：長崎 和則 氏（川崎医療福祉大学）

坂本 智代枝 氏（大正大学）

＜分科会 2＞ 9：30 ～ 12：30

テーマ「精神保健福祉援助演習・実習の教育体制の視点と展開」

〔企画の趣旨・内容〕

新カリキュラムへの移行に伴い、実習時間は 210 時間に拡大された。また、医療機関と地域の障害福祉サービス事業を行う施設等の 2 ヶ所以上で実施することとなった。これは、精神保健福祉士に求められる役割が、「長期在院患者を中心とした精神障害者の地域移行を支援する役割」、「精神障害者が地域で安心して暮らせるよう相談に応じ、必要なサービスの利用を支援するなど、地域生活の維持・継続を支援し、生活の質を高める役割」とされるからに他ならない。

実習・演習教育は、ソーシャルワーカー養成の要であり、以前より分科会では、実習・演習に関するテーマを設けてきた。そこで、本年度の分科会でも精神保健福祉援助演習・実習の教育体制において、養成校の教員と現場の実習指導者らとの連携・協働の在り方を探り、求められる役割に呼応できる精神保健福祉士の養成を考える場としたい。

コーディネーター：辻井 誠人 氏（大阪人間科学大学）

講師：岩崎 香 氏（本協会事務局員：早稲田大学）

行實 志都子 氏（神奈川県立保健福祉大学）

<分科会3> 9:30 ~ 12:30

テーマ「教員に必要なスーパービジョン機能～実習SVと卒後SVを視野に入れて」

〔企画の趣旨・内容〕

言うまでもなく、スーパービジョンはソーシャルワーカーの成長に不可欠である。前回の全国研修会では、養成教育から卒後教育の連続性を視点にしたスーパービジョンの分科会を設け、OJTや職能団体のスーパービジョンの仕組みなどの紹介を通じ、養成機関と実践現場の連携・協働について検討した。

今回の分科会では、特に「教員に必要なスーパービジョン機能」を中心に置き、実習スーパービジョンと卒後スーパービジョンを視野に入れながら、現場や養成教育でスーパービジョンに関わる田村綾子氏と本協会研修委員で若手教員としてスーパービジョンに関わる茶屋道拓哉氏の話提供を受け、養成校を卒業して行く学生たちがソーシャルワーカーとして、育っていくキャリアパスも焦点化しながら、メインテーマにある「教育力」のうち、特に、我々教員が身につけなければならないスーパービジョンの教育力（機能）を考える分科会としたい。

コーディネーター：伊東 秀幸 氏（田園調布学園大学）

講

師：田村 綾子 氏（聖学院大学）

茶屋道 拓哉 氏（九州看護福祉大学）

<分科会4> 9:30 ~ 12:30

テーマ「一般・短期養成施設における養成教育の本質と役割について

～養成施設の教育が目指すもの～」（養成施設企画）

〔企画の趣旨・内容〕

精神科ソーシャルワーカーが精神保健福祉士として国家資格化された1997（平成9）年に大学教育よりも短期間で国家試験受験資格を取得するルートとして一般・短期養成施設（以下、養成施設）が誕生した。入学対象者は、4年制大学を卒業している者や社会福祉士登記者、一定期間の実務を経験した者など幅広い。

養成施設数は、現在、約40校と全養成校のうちの25%であるが、国家試験合格者の約60%は養成施設の卒業者が占める。こうした現況は、精神保健福祉士として活動する者の多くが養成施設の出身者ということの意味しており、精神保健福祉士養成教育における養成施設の役割は大きい。

したがって、4年制大学とは修業年限や入学対象者等が異なるため、養成施設独自の教育のあり方を考える必要がある。本分科会では、4年制大学等における養成教育の違いも含め、養成施設における教育の本質と役割について考え、語り合う場としたい。

コーディネーター：安元 紀子 氏（九州医療専門学校）

話 題 提 供：坂野 憲司 氏（日本福祉教育専門学校、前帝京平成大学教授）

<ブロック活動基調報告> 13:30 ~ 14:15

都道府県の活動やブロック活動のモデルとして、以下3県の活動紹介・状況報告を行います。

報告者：橋本 菊次郎 氏（北翔大学：北海道ブロック・北海道精神保健福祉士養成校協会の活動）

中村 卓治 氏（広島文教女子大学：広島県の活動）

橋本 みきえ 氏（西九州大学：九州・沖縄ブロックの活動）

<ブロック別連絡会> 14:20 ~ 15:20

ブロック活動基調報告を踏まえ、ブロックごとに情報交換や今後の取り組みを話し合う機会とします。各ブロックの自由な情報交換だけではなく、話し合いたい課題等をご提示する予定です。

お問い合わせ先

一般社団法人 日本精神保健福祉士養成校協会

Japanese Association of Schools of Certified Psychiatric Social Worker

東京都港区港南4-7-8 都漁連水産会館6階 社養協内

電話：03-5495-7595 FAX：03-5495-7596

E-mail：jascpsw@nifty.com URL：www.jascpsw.jp

## ■ お申込方法 ■

係る費用のご入金後、6 月 13 日（金）17：00 までにインターネット上の専用フォーム

【 <http://p.tl/1Mq8> 】へ進み、必要事項を入力してください。

- ※ 各参加費・お弁当代を振り込んで頂いた後、専用フォームを記載してください。
- ※ 専用フォームは 1 名ずつ入力をしてください。
- ※ 参加料振込は複数名で振り込んで頂いても構いません。
- ※ 参加票等送付先を所属機関ではなく、自宅を希望する際は、専用フォーム入力後に E メールで、氏名を記載の上、住所をご連絡ください。
- ※ ご宿泊につきましては紹介・斡旋いたしません。各自でご手配ください。
- ※ キャンセルにつきましては 6 月 13 日以降、受け付けませんのでご了承下さい。
- ※ 領収書の発行は、原則お一人様ごとに「ご所属+お名前」にて発行いたします。
- ※ 参加票や会場のご案内等の発送は、6 月 13 日以降に発送いたします。（開催 1 週間前までに発送予定）

\*\*\*\*\*

## ■ 各種費用 ■

### < 研 修 会 >

- |                       |                                                |
|-----------------------|------------------------------------------------|
| ①会 員…1 名につき 12,000 円  | 会員… <u>本協会に 5 月 30 日（金）必着で入会書類をご送付いただいた団体</u>  |
| ②非会員…1 名につき 17,000 円  | 実習指導者… <u>精神科病院等で養成校の実習生を受け入れる現場の精神保健福祉士の方</u> |
| ③実習指導者…1 名につき 2,000 円 |                                                |

### < 情報交換会 >

28 日；参加費 8,500 円 会場：名古屋国際ホテル「老松の間」（会場アクセス別紙参照）  
名古屋の屈指の老舗ホテルにて「名古屋めし」をご用意しております！  
ふるって、情報交換会にご参加ください！

### < 昼 食 >

両日お弁当をご用意致しますので、ご希望の方はお弁当代を合わせてお振込ください。

28 日；創業 江戸時代 享保年間「八百彦 本店」和食お弁当（お茶付き）価格 1,200 円

29 日；熱田神宮御用達 「玉伝 本店」和食お弁当（お茶付き）価格 1,200 円

#### 【昼食注文の際の注意事項】

- ※ 昼食内容が変更になる場合があります。
- ※ 昼食は完全予約制になります。当日申込は受け付けておりません。
- ※ 昼食の代金につきましては、原則として研修会費と合わせて振り込んでください。
- ※ 当日は昼食引換券と交換となります。昼食引換券（後日送付）を必ずご持参ください。
- ※ キャンセルによる返金は致しません。

\*\*\*\*\*

## ■ お振込口座 ■

三菱東京 UFJ 銀行 普通預金 四谷支店 店番 051

イッパンシャダンホウジンニホンセイシンホケンフクシシヨウセイコウキョウカイ ケンシュウグチ カイチョウ イシカワトリガク  
一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会 研修口 会長 石川到覚

口座番号 0041166